

平成26年12月11日
東北経済産業局

東北経済産業局が選んだ「平成26年東北経済・産業の10大ニュース」

東北経済産業局では、毎年12月この1年間を振り返り、東北の経済・産業に関わる印象的な出来事、支援内容等をとりとまとめてお知らせしております。

このたび、局内からエントリーされた項目を全職員によって投票を行い、ニュース性の高かった下記出来事を10項目選定しましたので、お知らせします。

今年は、インフラ面での復興が進展し、スポーツ界や観光面でも復興を後押し、産業面では東北独自の地域活性化に向けた動きが各方面でみられました。

記

1. 三陸鉄道全線開通や福島県沿岸部国道6号通行規制解除、常磐道浪江―山元間開通など、インフラ面で目に見える本格復興が進んだ。被災地域の復興の加速化と産業の振興に期待
2. スポーツ界が今年も消費に貢献。ソチオリンピック金メダリストとなった羽生結弦選手の凱旋パレードでは9万人が集まり、周辺商店街は普段の3倍の人出に。
3. 4月から消費税率8%に引き上げられる。円滑かつ適正な転嫁を確保するため、広報・相談体制を強化するとともに、監視・取締り対応の動きを本格化
4. 東北地域産業の成長戦略まとまる。復興からの新産業創出、地域資源の新たな魅力発掘と発信、自動車産業や医療機器産業を牽引役としたものづくり産業の戦略的育成に取り組む。
4. 東北7県が一体となった海外を中心とする広域観光プロモーション活動が始まる。外国人旅行者向け消費税免税制度が10月に改正され、インバウンドを後押し
6. B-1グランプリに青森県の「十和田バラ焼き」が第1位となり、東北勢3年連続のゴールドグランプリ
7. 東北産業の表現力・発信力の強化に向けた一歩。「おいしい東北パッケージデザイン展2014」で東北地域の個性あふれる商品に対するパッケージデザインを展覧・表彰、全国で初の試み
8. 小規模事業者への支援が充実。小規模基本法の制定、小規模支援法の改正が行われるとともに、「よろず支援拠点」が東北各県に開設され、4ヶ月間で相談対応件数3500件超
9. 秋田県において、日本初のシェールオイルの商用生産に向けた動きが進展し、地域の産業や雇用への貢献が期待される。
10. 東北電力(株)が再生可能エネルギー発電設備の連系申込に対する回答を一時保留

【選定方法】

局内各課室や東北各県の地域サポーターから今年のニュース項目を募集し、29 項目の候補案件に絞り込む。その後、5 日間にわたって局内全職員による投票（職員 1 人につき 5 項目まで）を行い、職員 155 名の投票を得て集計した結果です。

（本発表資料のお問い合わせ先）

東北経済産業局広報・情報システム室長 遠藤 憲子

担当者：有路、佐川

電 話： 022-221-4867（直通）